

照葉大吊橋遊歩道 散策の手引き

かつて西日本を広く覆っていた照葉樹林は、開発などの影響でだんだん姿を消しています。そんな中、ここ綾には、日本最大の面積と言われる照葉樹林が残されています。貴重なこの森について、その植生、人間との共存の歴史、文化などを広く伝えていくために、研修を受けたボランティアガイドが皆さまをご案内します。

<集合場所・料金など>

○集合場所：「てるは森の驛」(P4<照葉大吊橋周辺地図>参照)へお越し下さい。

○ガイド料金：

(下記ガイド料金とは別に、吊橋入場料(300円/1名)が必要です。)

ガイド料金(参加者お一人あたり)	
<人数>	<金額>
～9名まで	500円
10名以上(団体割引料金)	400円

○雨天時の対応、料金の割引・返金規定、キャンセル規定：P3の「お申込時確認事項」を必ずご確認ください。

<遊歩道散策って?>

まずは大吊橋から、照葉樹の森をゆっくり眺めてみましょう。たくさんの種類の緑色、太陽に照らされて光る葉など、森の姿を堪能できます。ふだんなかなか見ることのできない照葉樹の樹冠を、上から観察するのも面白いですよ。森に入ったら、幹周り3m近いイスノキやタブノキの巨木、きれいな野鳥、季節ごとに装いをかえる小さな野草など、色々な出会いを楽しんでください。

照葉大吊橋から続く遊歩道は、1周約2kmのコースです。ガイドの解説を聞きながら、約3時間の散策となります。比較的平坦なコースですが、2箇所の下りと、最後に10分ほどの上りがあります。無理をせず、疲れたら遠慮なくガイドに声をかけてください。

<楽しい散策のために・・注意すること>

①気候

綾の森は温暖帯の中にありますが、1月には気温は-5℃を下回ります。雪が降る場合もあり、真冬の入山には寒さ対策が必要です。3月頃からは気温は穏やかとなりますが、6月から8月にかけては湿度も高く、気温も30℃を超える日が続くようになります。

②服装・持ち物

～基本～

森には棘をもった植物やかぶれを引きおこす植物もいます。そのため森に入る時には、基本的に長袖シャツ、長ズボン、帽子、軍手を身に着けることが必要です。靴は運動靴を履きましょう。トレッキングシューズなど、滑らないしっかりしたものとさらに安心です。水分補給のための飲み物や、変わりやすい山の天気に対応して雨具も準備しておくことと安心です。その他、敷物・双眼鏡・筆記用具があると便利です。

～ヤマヒル対策～

5月～10月初め頃までは、ヤマヒル対策も大切です。特に雨上がりは注意が必要です。気付かないうちに足もとから上ってくる場合があります。薄手の靴下の上からでも吸い付くので、目の細かい少し厚手の靴下を履きましょう。ズボンの裾を靴下の中に入れておけば、ある程度侵入を防ぐことができます。そのためにも、靴下は長めのものを履きましょう。靴に塩水を塗りつけておくと、ヒルは上ってきにくいと言われていています。最近では、ヤマヒル除けのスプレーも市販されています。長靴はマムシからも安全といわれます。

③行動の注意

綾の森はほぼ全域が国定公園です。許可なしに狩猟や釣り、野鳥捕獲、昆虫や植物の採集はできません。キャンプも指定された場所以外は原則できないことになっています。ルールを知り必ず守りましょう。

④注意する生き物と対処法

～ヤマヒル～

綾の森では、地面に腰を下ろした時や手をついたときにヤマヒルが取りつく場合が意外に多いので、注意が必要です。ヤマヒルは湿った場所を好みます。日のあたる乾いた場所を選んで座るようにしましょう。

～ダニ～

ダニは小さく、目で見て取り除くことは難しいので、森から戻ったらズボン

の上から殺虫剤を散布したり、シャワーを浴びて服を着替えるなどの対策が必要です。ヤマヒルは病気を媒介しませんが、ダニはツツガムシ病や日本紅斑熱などを媒介するので、ダニに刺された後に高熱が出た場合は、すぐに医者にかかりダニに刺されたことを話します。

～マムシ、スズメバチ～

草むらや灌木の中には、マムシがいたりスズメバチの巣があったりするので、立ち入らないのが懸命です。万が一マムシに咬まれた場合には、すぐに医者に血清を注射してもらわなければなりません。ハチに刺された場合は、人によって過敏反応やショック症状が出ますので、様子をみながら、少しでも異常が出たら下山して医者を受診します。参考までに、スズメバチは黒い色に集まると言われています。なるべく黒い色の洋服は避け、帽子をかぶるようにしましょう。

<お申込時確認事項>

お申込の際は、以下の注意事項およびキャンセル規定を必ずご確認くださいませう、お願いいたします。

<雨天時の対応について>

- ① 大雨の場合は、安全管理上、遊歩道散策は中止とさせていただきます。
- ② 小雨程度の場合は、遊歩道散策を実施します。途中悪天候となった場合は、安全面を考慮した上で早めに終了させていただく場合がございます。また、雨具を必ずご持参ください。

<料金の割引・返金について>

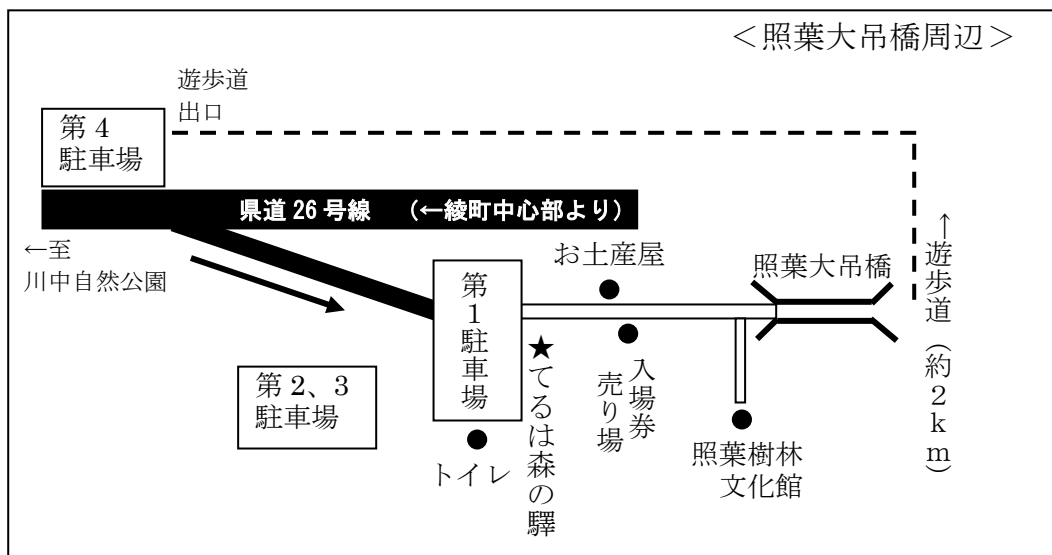
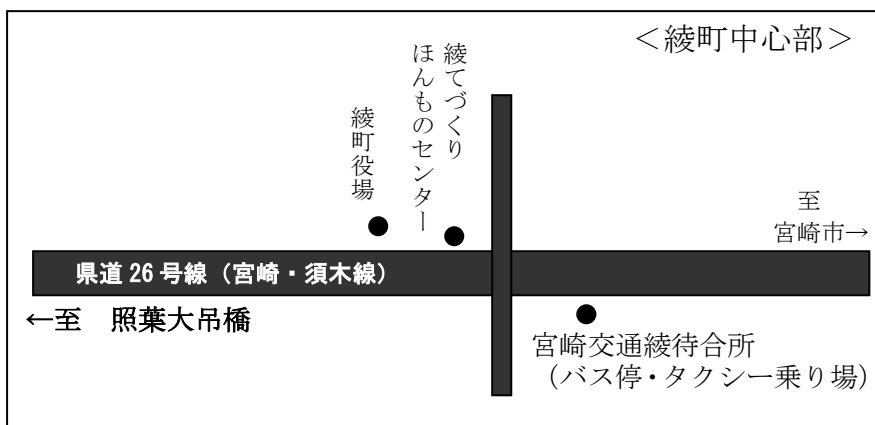
ガイド料金の設定は、現地までのガイド交通費支給のためのものです。そのため、悪天候による当日キャンセル・早めの終了等の場合でも、割引や返金には応じられませんので、あらかじめご了承ください。

<キャンセル規定>

○申込取消期限：実施日の2日前まで

○取消料：(1日前) 料金総額の50% (当日) 料金総額の100%

<照葉大吊橋遊歩道までの地図>



～お申込・お問合せ先 (事務局)～

〒880-0014
宮崎市鶴島 2 丁目 9-6 みやざき NPO ハウス 403 号
一般社団法人 てるはの森の会
TEL 0985-35-7288/ FAX 0985-35-7289
(E-mail) teruha@miyazaki-catv.ne.jp (URL) <http://www.teruhanomori.com>

～日本の宝づくり～

その昔、西日本は広く照葉樹林におおわれていました。日本の基層文化を育んだ照葉樹林。しかし今ではわずかに残るだけとなっています。このような中、日本一の「綾の照葉樹林」を保護し分断された部分を復元し、長大な回廊としてつなぐ。そんな夢のある計画に、あなたも参加してみませんか。

<綾の照葉樹林プロジェクトとは？>

2005年5月から始まった、綾の照葉樹林の保護と復元のためのプロジェクトです。約10,000ヘクタールのエリアを舞台に、森の厳正な保護、人工林から照葉樹林への復元、共生のための森づくりなどを100年がかりで進めていきます。

<3つの特色>

- ①国・県・地元自治体・学術機関・地元NPOが一体となって、計画の策定から実行まで共に取り組む協働の形で進んでいきます。
- ②地元NPOが窓口となり、一般の方々のプロジェクトへの参加をサポートしていきます。
- ③綾の照葉樹林の本来の遺伝子資源を守るため、苗木を植えて育てる方法とはりません。残っている照葉樹から落下したり、風に飛ばされてくる種子から、自然に芽生え、自然に育つよう、お手伝いをしていきます。自然本来の力を引き出しながら、自然のサイクルに沿った復元を進めていきます。

<参加するには>

このプロジェクトの民間部門を担うのが、「てるはの森の会」です。「てるはの森の会」へ入会することで、プロジェクト運営のための資金協力、保護・復元作業のボランティア協力などをすることができます。「てるはの森の会」では、個人・企業・各種団体など、多様な参画を必要としています。

「てるはの森の会」年会費		
個人会員	団体会員	法人会員
2,000円	(一口)5,000円	(一口)10,000円

<お問合せ> 「てるはの森の会」事務局まで（連絡先はP4記載）

100年がかりの壮大なプロジェクト実現のためには、多くの皆様のご協力が必要です。残された貴重な照葉樹林を未来へ引き継ぐために、あなたのご参加をお待ちしています！